

発 言 通 告 書

発言者氏名	藤野英明
発言の会議	令和3年 9月15日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 2度目の市長選挙を終えた上地市長の姿勢について

- (1) 選挙中にしばしば聞かれた「前市長と違って上地市長は現場に来ない」という市民の声に対して、本来のあるべき市長の姿、市役所の姿に対する考えについて
- (2) 全ての市民の願いに寄り添う市長であるためにも、ほかの候補者が掲げた公約からも学び、採用できるものは採用し、実現していく必要性について

2 コロナ禍の今、必要な取組について

- (1) コロナ禍での生活困窮に対応するために実施してきた市役所の日曜開庁への評価と、10月以降も取組を継続する必要性について
- (2) コロナ禍で苦しむ人々のためにも強く期待され、今年度新規事業の目玉であった「福祉に特化したLINEアカウント」が個人情報を書き込めない、相談とは言えない形でスタートしようとしている現状について
- (3) 一旦立ち止まり、たとえ延期し予算を増額しても国のガイド

ラインに沿った対応策を施し、本来の目的に沿った形でSNS相談としてスタートさせる必要性について

- (4) コロナ禍で性暴力被害が増加している現状に対して、性暴力の被害に遭った方々を支援するために病院拠点型のワンストップ支援センターを市立病院に設置できないか、指定管理者と意見交換を行い、実現可能性を検討する必要性について
- (5) コロナ禍での孤独・孤立対策の一つとしての「社会的処方」に取り組むために、市役所内外の多職種・多機関で連携する必要性について